

令和6年度第1回

長洲町

総合教育会議 記録

令和6年度第1回長洲町総合教育会議

○日 時

令和7年2月26日（水）午後3時00分～午後4時15分

○場 所

長洲町役場3階大会議室

○委 員（6名）

町 長 中 逸 博 光
教 育 委 員 坂 本 裕 文
教 育 委 員 塚 本 俊 介

教 育 長 松 永 光 親
教 育 委 員 岩 切 久美子
教 育 委 員 福 島 美 智 子

○欠 席 者（0名）

○関 係 者（5名）

長洲中学校長 松 井 明
腹赤小学校長 佐 村 良 一
長洲小学校長 坂 本 和 也

六栄小学校長 久 保 田 眞 二
清里小学校長 一 瀬 一 郎

○事 務 局（4名）

副 町 長 平 川 一 喜
総務課長補佐 金 森 秀 益

総 務 課 長 濱 村 満 成
総 務 課 担 当 五十嵐 史 紘

○教 育 委 員 会（4名）

学校教育課長補佐 笠 公 雄
生涯学習課長 山 本 明 子

学校教育課係長 山 村 喬 士
生涯学習課長補佐 川 島 武

○説 明 補 助（5名）

まちづくり課長 城 戸 主 税
子育て支援課長補佐 西 村 裕 樹
福祉保健介護課長 宮 本 孝 規

子育て支援課長 大 賀 留 美
危機管理対策室 中 島 良 治

議事次第

- 1 開会
- 2 主催者挨拶
- 3 協議・調整事項
 - 1 6年間の教育に関する取組の総括及びこれからの長洲町の教育について
 - 各課説明
 - 委員の意見交換
 - 全体協議
- 4 その他
 - 令和7年度長洲町総合教育会議について

【司会（金森総務課長補佐）】 それでは皆様、定刻より少し前ですが、委員の皆様お揃いですので、始めさせていただきます。ただ今より、令和6年度第1回長洲町総合教育会議を開会いたします。開会に先立ちまして、教育委員の交代がっておりますので新任の福島委員から一言ご挨拶をお願いいたします。

【福島教育委員】 はい。皆さんこんにちは。福島と申しております。2月15日付で教育委員に任命していただきました福島美智子と申します。居住区は、建浜に住んでおります。上は中学生から下は幼稚園までの4人の子供の親で、子育て中でございます。長洲町のエドゥカシヨンに、尽力させていただきたいと思っております。どうぞよろしくお願い申し上げます。

【司会（金森総務課長補佐）】 福島委員ありがとうございます。今後ともどうぞよろしくお願い申し上げます。それではまず開会にあたりまして、主催者であります、町長の中逸博光がご挨拶を申し上げます。

【中逸町長】 皆様こんにちは。本日は大変お忙しい中、ご出席を賜りありがとうございます。委員の皆様や関係者の皆様には日頃から長洲町のエドゥカシヨンにご理解とご協力を賜っておりますことに重ねてお礼を申し上げます。さて、今年度もあと1か月となりました。教育委員会、学校におかれましても、卒業、進級、入学と忙しい時期に入っているのではないかと思います。今年度を振り返りますと、4月に新長洲中学校が誕生し、子供たちが元気に登校している姿を見て、また登校してよかったという声を聞いて、本当に安心しているところでございます。関係者の皆様におかれましては、様々な準備に追われ、大変なご苦勞をおかけしたと存じますが、これからも長洲の子供たちが元気に、そして安全に通える学校づくりを実現して頂きますようお願い申し上げます。また、昨年9月に行われましたパリのパラリンピックの車いすラグビーにおいて、見事日本が金メダルを獲得し、その中心選手の1人としてご活躍された当町出身の島川慎一選手に対し、長洲中学校で表彰式を行い、子供たちとも触れ合っていただきました。郷土長洲町に誇りを持ってもらうなど、子供たちにとっても大変貴重な機会になったのではないかと考えております。さて、本日は今年度初めての総合教育会議となりますが、教育現場においては学力体力の向上や様々な教育上の課題があるかと存じます。これらを解決し、またさらに取り組みを進めていくため、これまでを振り返った上でこれからの長洲町の教育について皆様と一緒に考えていたいと思い、本日の議題を設定させていただきました。短い時間ではございますが、様々なご意見をいただければと考えております。結びになりますが、委員の皆様や関係者の皆様のご健勝とご多幸を祈念申し上げまして挨拶とさせていただきます。本日はよろしくお願い申し上げます。

【司会（金森総務課長補佐）】 ありがとうございます。本日は町内の小中学校の校長先生にもご出席の方をいただいております。大変お忙しい中ではございますが、どうぞよろしくお願い申し上げます。それでは早速ですが本日の次第3にございます協議調整事項となります。長洲町総合教育会議運営規約第2条におきまして、町長が議長になることとなっておりますので、これからは町長の議事の進行をお願いいたします。

【中逸町長】 はい。皆様、改めてましてよろしくお願い申し上げます。それでは本日の協議調整事項であります16年間の教育に関する取り組みの総括、及びこれからの長洲町の教育についてを議題といたします。私が町長に就任して以来、16年間にわたり長洲町の子供たちのため、そして将来の長洲町の礎となる人材を輩出するため、学校、教育委員会、関係機関と連携協力しながら様々なことに取り組んでまいりました。本日はこれまでの歩みを止めないためにも、ここで1度これまでの取り組みを総括するとともに、これからの長洲町が行っていく教育、またその方針を皆様と一緒に考えてまいりたいという趣旨で本日の議題とした次第でございます。それでははじめに、お手元の資料に基づきまして各課長から説明をお願いしたいと思います。それでは総務課から順に説明をお願いいたします。

【中島危機管理対策室長】 皆様こんにちは。総務課の危機管理対策室の中島と申します。資料の方をご覧ください。1ページ目になります。総務課の方からは、5点ご説明をさせていただきます。まず1点目でございますけれども、取り組み内容といたしまして、区設置の防犯灯のLED灯への交換にかかる費用の補助ということでございます。検証というところでございますが、この補助が始まったのは平成26年度からでございます。令和6年度の令和7年1月末までの間にですね、区の方で設置しておりました防犯灯519基。こちらの方を蛍光灯からLED灯へ交換をしているところでございます。町内のですね、夜間の安全安心が確保できているというところでございます。これからの将来の方向性でございますけれども、区からの申請の方が少なくなってきました。区の方へ調査をいたしまして、継続する必要があるかどうかというのは今後検討していきたいというところで考えているところでございます。続きまして2点目でございます。中学校の統合に際しまして、通学路を中

心とした防犯灯の設置というところでございます。これはですね、令和5年度から6年度にかけまして、実施したものでございます。検証といたしましては、中学校の統合に伴い、通学路の新設、また変更されたところを中心にですね、LED灯の防犯灯を、令和5年度には76基、令和6年度に43基。これは、同じく令和7年1月末の設置箇所数でございます。通学する生徒さんが夜間に安全で安心に通行することができるようになったというところで考えているところでございます。将来の方向性につきましては、今後のですね、夜間通学する生徒さんのですね、安全安心を確保するために必要と思われた所については、追加して設置していくところで考えております。現在ですね、総務課の方で管理している防犯灯。こちらは337基でございます。続きまして、3番でございます。通学路の犯罪抑止力として、防犯カメラの設置事業、整備事業でございます。こちらにつきましては平成29年度からになっております。検証といたしましては、設置以前の犯罪認知件数でございますけれども、平成28年度は45件ございました。令和5年度におきましては39件というところで、減少傾向でございます。これはもう整備の効果があったということで考えているところでございます。将来の方向性につきましてはですね、これまでの整備によって、主な道路及び町の出入口付近ですね、こちらの方にはもう既に設置は終えております。整備に関しては十分設置しておりますし、今後は維持管理の方をしっかりとまいりたいというところで考えているところでございます。現在ですね、町内には101基、防犯カメラの方を設置していております。4番目でございます。取り組み内容といたしまして、通学路の事故防止のための交通規制線等の修繕、及び交通安全対策というところでございます。町内の警察管理の交通規制線につきましては交通事情が懸念される箇所については、町について修繕を実施しております。また、道路標示や看板の設置など事故の予防に努めているところでございます。結果ですね、交通事故が平成20年には63件発生しておりましたが、令和6年には18件と大きく減少しているというところでございます。その効果は大きいものだというところで考えているところでございます。将来の方向性につきましては、今後も警察署と協力いたしまして、規制線の修繕や、交通安全対策など継続して実施をしていきたいというところで考えております。5点目でございます。最後になります。通学路の犯罪抑止力としての青色防犯パトロールカーの整備でございます。こちらにつきましては、平成22年に青色の防犯パトロールカーを2台整備しております。各団体これまで650回以上ですね、貸し出しを行っております。また、職員によるですね、行政パトロール、これは毎週行っておりますけれども、火曜、木曜、小学校の下校時間に合わせまして、実施しているところでございます。これに関しましても、不審者への抑止力として大きな効果を期待しているというところでございます。将来の方向性につきましてはでございますけれども、車両の方ですね、更新時期を迎えております。またですね、近年のコロナの影響がございまして、貸し出し回数がちっと減少傾向にございます。台数や運用方法こちらについてはですね、今後検討する必要があるかなというところで考えているところでございます。今後もですね、児童生徒の安全確保のために事業自体は継続していくというところで考えております。以上でございます。

【中逸町長】 はい、ありがとうございました。次をお願いします。

【城戸まちづくり課長】 はい、まちづくり課長の城戸と申します。よろしく願いいたします。まちづくり課からは1点、ここに掲載させていただいております。プログラミングのワークショップの開催でございます。こちらにつきましては、小学校でのプログラミング教育が必修化ということで、プログラミング教育への関心が高まってきてある中、プログラミングで創造する楽しさであったり、そういったことを体験することを通じてデジタル社会の未来を担う創造的人材を育成することを目的といたしまして、令和4年度につきましては2日間、令和6年度については5日間のスケジュールで開催したところでございます。参加者数でございますけれども、令和4年度は延べ24名でございます。これはアプリケーションを使ったというところの、調査がございまして、令和6年度につきましては延べの46名。これはスクラッチというソフトというところで、実施をしております。開催後の児童生徒又は保護者さんにもアンケートを実施しております。ともに高い満足度というところで感想がっております。実施時間を延長した開催を望む意見がっております。令和6年度につきましては、1講座あたりが60分ということで、短いというようなご意見等があったところでございます。将来の方向性でございますけれども、これまでの開催実績であったり、昨年のアンケート結果等をもとにいたしまして、令和7年度以降においてもプログラミングワークショップの開催を予定しているところでございまして、プログラミングを通して、子供たちの創造力であったり、論理的な思考等、問題解決能力を育成したいというところで考えているところでございます。それとあのこちらに記載ございませんけれども、夢づくりトークの方も開催をさせていただいております。昨年、令和6年には、中学校3年生の皆さんからということで、長洲町の将来についてというところで、旧長洲中

学校跡地活用など、そういった提案もいただいております。また、防犯灯の設置など要望等もいただいたところでございます。ありがとうございます。

【中逸町長】 はい、ありがとうございます。次に、子育て支援課からお願いします。

【大賀子育て支援課長】 はい。皆さんこんにちは。子育て支援課の大賀と申します。委員の皆様、また先生方におかれましては、日頃から子育て支援の取り組みにご理解ご協力を賜り誠にありがとうございます。それでは、私の方から7点説明させていただきます。7つです。まず、1点目の幼児英語教育の推進につきましては、幼児期から外国人講師によりますネイティブな発音での英語を学ぶことで、正確な発音とヒアリングの能力を養うことができ、小学校、中学校まで切れ目なく質の高い英語教育を推進することができております。また、各施設、各年齢別に指導を行っておりまして、子供たちがより多くのレッスンを受けることができるようにカリキュラムを構築することで充実した英語教育の提供を行っております。また、今後も年齢に合わせた効果的な学習環境を提供いたしまして、各施設の状況に合わせて最大限にカリキュラムを組むなど、引き続きより充実した英語教育の提供を図ってまいりたいと考えております。次に2点目の町内4保育所の民営化につきましてですが、公立保育所の民営化に伴いまして、幼稚園と保育園の機能を併せ持つ認定こども園が整備されたことにより、保育のみでなく、野外活動や体験活動、運動教室、英語教育などの情操教育を実施することにより、教育と保育の充実が図られております。また、新たな園舎の整備にもより、子供たちがより安全な環境で保育を受けることができる体制も整えられました。少子化に伴い園児数が減少傾向にある中におきまして、今後も認定こども園、保育園と連携を図り、様々な取り組みを充実させることで、質の高い教育保育を受けることができる環境の整備とまた利用したいと思われる施設の運営に対する支援を行ってまいりたいと考えております。次に3点目の、子供医療費の無償化でございます。子供にかかる医療費の一部負担金の全額助成を行っているもので、中逸町長が就任された平成21年度に小学校3年生まで無償化を実施いたしまして、その後段階的に対象年齢を拡張し、令和5年度からは対象年齢を高校3年生の年代まで拡張して実施しているところでございます。今後も、子供が安心して医療が受けられるよう、また子育て世帯の経済的支援といたしまして、継続して行っていきたいと考えております。次に4点目の地域食堂等運営支援につきましてですが、地域の子供や高齢者等の居場所づくりといたしまして地域において子供地域食堂を運営する団体に対しまして、食材や資材の購入にかかる補助を行い、円滑な運営を図るための基盤づくりと自立運営に向けた支援を図っているところでございます。運営団体に対しまして3年間の補助を行うことで円滑な自立運営に繋げ、地域で子供から大人まで集うことができる居場所づくりを図るとともに、さらに子供地域食堂の実施箇所数の増加を目指していきたいと考えているところでございます。次に5点目の子供の眼鏡購入費助成につきましてですが、子供たちが安心して生活や勉強ができる環境の実現を図っていくために、視力を矯正するために必要となる眼鏡の購入にかかる費用の一部を助成いたします。これは令和7年4月から実施してまいりたいと考えております。この事業の実施によりまして、子供が安心して勉強や生活ができる環境づくりと、あと近年の物価高騰による影響を受ける子育て世帯の経済的支援を行ってまいりたいと考えております。次に6点目の多世代交流拠点整備につきましてですが、六栄小学校区にございます地域福祉センターを多世代交流施設として、子供から高齢者までが集える居場所としての機能を図るため、本年度施設改修に着手したところでございます。改修後は、子供から高齢者までが利用できる居場所づくりを推進し、地域のコミュニティの活性化を図ってまいりたいと考えております。また、居場所づくりにつきましては、町内33か所ございます介護予防拠点を活用いたしまして、各小学校区で1箇所ずつから居場所づくりを進めてまいりたいと考えているところでございます。最後に7点目の子育て世代総合支援センターはぐくみ館につきましてですが、平成29年度開所いたしまして、妊娠出産子育て期を通じた切れ目のない支援を、関係機関と連携しながら課題の解決に向けて取り組んでいるところでございます。各小中学校とも情報共有を密に行い課題を抱える児童生徒の支援を行っております。また、町が包括連携協定を結んでおります熊本県立大学とも連携した事業を行っているところでございます。今後も関係機関と連携を図りながら妊娠出産子育て期を切れ目のない支援を行っていくとともに、学校とも引き続き連携を行いながら情報共有により児童生徒が抱える課題解決に向けて取り組んでまいりたいと考えております。以上になります。

【中逸町長】 はい、ありがとうございます。次は福祉保健介護課からお願いします。

【宮本福祉保健介護課長】 資料の5ページになります。福祉保健介護課の課長しております宮本です。福祉保健介護課からは母子保健予防の分野におきまして3点、資料をつけさせていただいております。1番からいきます。フッ化物洗口及び歯科教室になります。この事業につきましては、平成25年度から、小学校を皮切りに実施をしております。現在全ての小中学校において、歯科のフッ化物洗口と歯科教室の方は開催されている状況でございます。フッ化物洗口につきましては週1回、歯

科教室については年1回の実施をさせて頂いています。真ん中の実績のところでございますけれども、25年度からの取り組みの部分で、中学生1人の平均虫歯の数。これ県の方が統計を出されております。令和3年度の0.2本から、令和5年度におきましては0.08本、これ長洲町の数字になります。虫歯の数は県内市町村45市町村の中で一番少ない状況というところの成果となっております。今後の方向性というところでございます。1番右側です。下の方にありますこの事業につきましては、口腔の状態は全身の健康状態にも影響をいたしますので、長期的な虫歯予防政策、学童期における健康の基盤づくりとして引き続きですね、しっかり取り組んでいきたいと考えております。次に2番になります。貧血検査の事業になります。これにつきましては、令和4年度から取り組んでいます。内容につきましては、血をとる検査ではなくてですね、町が保有しております機械を通して貧血の度合いを測るというところで実施させて頂いております。真ん中が実績になります。小学校で令和4年、令和5年度でそれぞれ実施をしております。基準値以下の割合につきましては、令和4年度で3.4%、令和5年度で6.7%の割合となっております。この平均値と言いますのは全国的に見ると8%が平均というところになりますので、若干下回っているというようなところがございます。この事業の将来的な方向性につきましては、学童期からの貧血検査による自身の健康状態を知る機会になっております。今後もヘルスリテラシーの向上を目指していくということと、下の方になりますけれども、町としましては、この貧血検査のデータ。これ貴重なデータになります。そのデータを収集することによって、今後ですね、国策といいますか、日本における貧血検査対策の実現を目的としておりまして、今現在、3機関連携による共同研究の方を進めさせて頂いているという状況になります。この事業につきましては、明日の町内校長会におきましてまた私の方から今年度のお礼と来年度のご協力をお願いをする予定です。次の6ページになります。保健予防の母子事業になりますけれども、福祉保健介護課としまして、長洲町独自の取り組み、これ町独自の取り組んでいる部分を長々と伝えております。色々な事業をしっかり取り組ませていただく中で、特にご説明したい部分におきましては、2番目の屈折検査機の導入。これにつきましては、3歳児検診におきまして、弱視の疑いとか斜視とかですね、視力の異常を早期に発見するというものを図るための機械を導入させて頂いております。この機械の導入による検査において早期に疑いのある方を早めに眼科の方へ繋いでいただくというようなご案内ができていう事になります。長洲町におきましては、早い段階で取り組ませていただいております。この事業につきましては、全国自治体の方で必ずやるというところで今事業化がなされている状況です。他の記載につきましてはご覧の通りになります。この事業におきまして、何かっていうところにつきましては、様々な意味で早期発見早期予防、治療に繋げるというところのきっかけになる事業でございます。町としましてもこういった機器等の導入が進んだことによりまして、万全の体制で子供たちの色々な異常に対して早期発見できる体制が整っているところがございます。町としましても引き続きですね、健康増進のためにこういった事業にしっかり取り組んでまいりたいと考えております。以上です。

【中逸町長】 はい、ありがとうございました。学校教育課お願いします。

【笠学校教育課長補佐】 はい。学校教育課の笠です。よろしくお願いいたします。学校教育課からは、全27項目になります。若干概要的な感じでご説明させて頂ければと思います。まず、学校外国青年事業、いわゆるALTになります。外国語の指導助手といたしまして、英語の授業の生きた英語による授業補助といったものになっております。2番の特別支援、支援教育支援、こちらにつきましては、最近ニーズが増えております特別支援学級の事業の補助の支援としての配置となっております。3番目学校教育推進事業でございます。こちら、学校図書間の開設等の適時、適切な管理運用、または事業の準備、教科書の衛生指導等多岐にわたり学校の教員の先生と共に、推進をいただいております。それぞれ今後も継続して配置を考えていきたいと考えております。4番目小中学校の読書活動推進事業でございます。昨今言われております、読書離れ、活字離れが課題とされている中でですね、文科省が目標目指します学校図書館を整理、より整備することで考える力、感じる力、表す力等を育て、豊かな情操教育に努めるというものでございます。今後は、紙ベースの図書の本当だけではなく、デジタル図書といったデジタル教材も合わせて活用していくようにしていければと考えております。5番目、夢の教室事業でございます。トップアスリートの方から講義をいただきまして、アスリートの具体例や、夢、目標に対する向かっていく姿勢などを、講義いただき、大変、児童生徒からも好評をいただいております。こちらにつきましても、今後も継続していければと考えております。6番、心の教育相談事業になります。昨今、学校現場におきましても連携、子育て支援課、福祉保健介護課とともにですね、早めの特性を持つお子様方に対する、教育の相談の充実といったところで連携して、今後も教育相談等取り組んでまいりたいと考えております。7番目子供たちの交流事業についてです。長洲町と協定を結んでおります市町村方と双方協力いたしまして、様々な親睦交流体験活

動を行っているところでございます。こちらにつきましても今後も多岐にわたり交流体験活動を考えていきたいと考えております。**8番**目就学援助事業につきましてです。こちらにつきましては経済的理由によって就学困難と認められる学齢児童生徒の保護者に対し、町から必要な援助を与えているというところでございます。こちらにつきましても、継続した支援を今後も続けていきたいと考えております。**7ページ**、**8ページ**をお願いいたします。**8ページ**につきましてですが、主にハード事業が中心になっております。**9番**小中学校のWi-Fi整備事業。それと関連いたしまして**12番**がギガスクール構想による一人一台端末の整備、令和**2年度**におきまして、ギガスクール端末、タブレット端末の**1人1台**整備を行っておりますが、これに関連いたしまして、今後はこうしたタブレット端末の活用が推進されてまいります。合わせて、小中学校のWi-Fi整備、ネットワーク整備も今後も引き続き利活用に向けた整備を行ってまいりたいと考えております。**10番**、**11番**につきましてはこちらも関連しておりますが、まず小中学校の空調機器の設置整備でございます。合わせまして小中学校地中熱システムの導入、こちらも学校各教室における教育環境を適時整備して行って、修繕、改修等も引き続き行ってまいりたいと考えているところでございます。**13番**、こちらにつきましては、少しちょっとソフト的なものになります。小中学校の水泳事業サポート事業と、水泳事業サポート事業となっております。今年度まではですね、**2小学校**が学校の方で授業も行っていたいておりましたが、来年度は**4小学校**、**1中学校**ですが、**B&G**の総合スポーツセンターのプールを活用し、天候に左右されないプールの授業の実施を、取り組むことにしております。**14番**、**15番**、**16番**、**17番**こちらにつきましては、屋内運動場の大規模改修、長洲小学校が令和**3年度**。令和**4年度**は清里小学校の体育館大規模改修と、令和**2年**の六栄小屋内外トイレ改修。令和**5年度**、昨年でございますが、両小学校の大規模改修をそれぞれ行ってまいりました。**19ページ**をお願いいたします。**18番**になります。こちらが令和**4年**の**9月**から供用開始しております荒尾市長洲町学校給食センターの設置でございます。県内でみてもかなり珍しいといえますか、荒尾市と合同で整備を行ったセンターとしまして有事の際、災害時にもですね、給食の提供ができるような、あとは見学であったり施設としても、新センターとなっております。こちらを町で荒尾市さんと長洲町の方で整備を行っております。**19番**が小中学校のトイレ洋式化でございます。令和**2年度**におけるコロナ感染症対策の一環としまして、トイレの洋式化や手洗いの自動化等を行っております。**20番**小中学校の英語教育、合わせまして英検対策レッスンでございます。こちらにつきましても、これから必要となっていく英語教育を充実させ、外国語の活動にスムーズに入っていけるように先ほど子育て支援課長からもありました幼児期からの連携といたしまして、学校教育課におきましても小学校**1、2年生**を対象に、英語教育の推進を行っております。また、英検対策、英語検定対策の、英検事業強化につきましても取り組んでおまして、今後もまた取り組んでまいりたいと考えております。**21番**が教育支援生徒のほっとスペースの設置でございます。不登校児童の生徒さんの対応ですね、いつでも相談ができ、過ごすことができる居場所を提供することに加え、教育相談や家庭訪問等を行い学校に、向けた生活習慣の定着や学習等の、直接的な支援を行うというところで、こちらにつきましては昨年度からですね、**SSW**の方も配置を行っておりますので、今後も推進を続けていきたいと考えているところでございます。**22番**が学校事務センターの設置でございます。こちら、現在長洲小学校の方に学校事務センターを設置しておまして、こちらで、事務の先生方が効率化の向上を目指し、事務を行っていただいております。これまで各学校、小中学校でバラバラに行っていた事務をですね、**1箇所**で行うことで事務の効率化が図られておりますので、こちらも継続していく予定でおります。**23番**中学校の学力向上支援対策でございます。長洲みらい塾でございます。こちら、現在は中学校**3年生**をですね、対象に夏休み期間受験に向けた授業支援、学力向上の授業支援というところで、対応を行っております。アンケート調査の結果からですね**80%**を超える、生徒の方が役に立ったということで、回答いただいておりますので、こちらにつきましても継続していければと考えております。**24番**中学校統合でございます。令和**6年度**今年度より旧腹栄中学校、旧長洲中学校が統合いたしまして、新長洲中学校となっております。こちらにつきましても、様々な施設の改修を行わせていただいたところでございます。**25番**、中学校自転車、中学校の制服自転車購入助成、中学校の統合に伴い、制服の新調を行いましたので、そちらの補助と自転車購入の補助を今年度から行わせていただいております。**26番**、教育指導員、指導主事の配置でございます。町、教育委員会が推進する教育施策や政策課題の推進のため、また、学校における教育課程学習指導、その他学校教育に関する専門的事項など必要に応じた指導などを行い、学校教育の改善に努めるため今後もですね、引き続き新任、及び指導主事の配置を行っていかねばと考えているところでございます。最後になります。**27番**の、小中学校、生理用品設置でございます。こちら昨年度からですね、学校の方にも自由に使っていただけるよう

に、保健室はこれまでもあったかと思いますが、トイレの方にも設置をお願いしているところがございます。以上でございます。

【川島生涯学習課長補佐】 生涯学習課の川島です。どうぞよろしくお願いいたします。生涯学習課からは、4点項目を上げさせていただいております。まず1点目が、立花宗茂公夫人の墓周辺整備ということで、長洲中学校の南側にあります立花宗茂公夫人の墓の外構工事を終えたところでございます。こちらに関しましては、参拝者の方から道路、路上駐車とかされている方が多く、そういったものの解消につながっていたり、付近の通学路の交通安全対策にも役に立ったかなと思っているところもあります。1番は、この駐車場を整備したことによって、立花宗茂公夫人の墓はどこにありますかっていうことを聞かれていたんですけども、もうあの道路から見えるところに墓が臨めるってということで、文化財としても、やっとな地域の方のみならずいろんな方に認知が高まったかなということで感じているところです。今後につきましては、この駐車場を適正に管理していくとともに、今後の状況によってですね、また整備を行っていきたいと考えているところがございます。2点目の放課後事業、フレンズ事業の実施でございます。これは平成30年度から行っている事業でございますが、それまでは、放課後児童クラブ、学童保育は子育て支援課、放課後子ども教室は生涯学習課、寺子屋学習塾、長洲ふるさと塾は教育委員会で、それぞれ別々なところで実施しておりましたが、これを1つの課に持ってきて統合することによって、放課後における児童の安全安心な居場所を確保し学習やスポーツ、様々な体験活動等に一体的な取り組みを始めたところでございます。実はあのこの事業はですね、県内でも、その当時は先駆的な、先駆的な取り組みだったようで、いろんなところから、県内の各地から視察に来られたっていうことを、担当者の方から聞いているところがございます。検証といたしまして、毎年実施しております保護者のアンケートからもですね、とても満足しているってような回答を得ているところがございます。今後につきましては、さらに放課後を安全安心に過ごしていただけるよう、現在、週3日、実施しておりますけれども、週5日にすることが望ましいというふうに考えているところです。ただコスト面や、人材の確保ってところが課題になりますので、今後またそこは検討していかなければならないというふうに考えております。3点目、社会教育施設における指定管理者制度の導入ということで、長洲町は総合スポーツセンター、長洲未来館、図書館この施設を指定管理者制度による、社会教育施設の管理代行を始めたところでございます。こちらによって、民間のノウハウを活用され、コスト削減、サービスの質の向上が図られたというところがございますが、子供たちにとっては読書活動の推進や文化活動、スポーツ活動の推進が図られたというふうに思っております。今後も文化、スポーツを推進することが望ましいので、その方向を実施していきたいと思います。最後に学校部活動の地域移行の取り組みといたしまして、平成27年度に小学校の部活動を社会体育とする検討委員会を設置し、平成28年4月に小学校の部活動は地域へ移行いたしました。また、現在中学校の部活動の地域移行につきましても検討委員会を実施し、今実証検証を実施しているところがございます。小学校の部活動の地域移行によりまして、子供たちは専門的な指導を受けることが可能になり、また地域外の子供と競技を通じた交流ができるようになりました。現在進行している中学校の部活動につきましても同様の効果が期待できるため、検討委員会を通して検証を重ね、推進をしていきたいと思っております。以上で終わります。

【中逸町長】 文化活動や振興の委員会がちょっと抜けてるんじゃないかと思います。10何年の間、かなり文化活動やってきたと思いますけど、メインのをちょっと言って頂ければと思います。吉田さんとかやったじゃない。

【川島生涯学習課長補佐】 はい。2ヶ年間にわたりまして、ながす未来館におきまして、長洲町のご出身である尺八の名手であられます吉田晴ふうさんのメモリアルコンサートを、2か年にわたって実施いたしました。1年目は、両中学校の生徒さんを招待して行いまして、2年目はもうその上の学年は聞いていたので、新しく入った1年生と、長洲小学校の生徒さんと地域住民の方を集めて未来館の方で吉田晴ふうさんのメモリアルコンサートを行ったところがございます。それと長洲町の出身者であり、二科展の名誉会員であられます長洲町の旧腹栄中学校出身であられます木戸兄弟をお招きいたしまして、昨年度11月に兄弟3人展を行ったところです。そして多くの方、1000人を超える多くの方に来場していただきまして、絵画の方を見ていただきました。その時にいただいた寄付の絵は、長男さんの絵が長洲中学校の校長室に飾ってありますので、お時間のある方は校長室に行かれる際には、長男さんの絵を見ることがができますので、どうぞよろしくお願いいたします。

【中逸町長】 はい。ありがとうございます。続きまして、委員の皆様との意見交換に入りたいと思います。坂本委員から順番に、これからの長洲町の教育の方向性を含めてご発言をお願いしたいと思います。よろしくお願いいたします。

【坂本教育委員】 実に沢山のですね、この16年間の事業、それから検証、方向性についてお話を聞きましたけれども。まちづくりについて、そのまちづくりは人づくり、人づくりは教育からというところですね、今後の長洲町のこの全体像を考えた場合にやっぱり根底にあるのは人づくりと思うんです。人づくりはやっぱりそこに教育が関わってくる。それを町全体の各課がこう、このペーパー見るとその通りになってきてるわけですね。もうあの今後のずっと流れを、この16年間の流れを見てとったら、非常に人づくりもされとるし、そこの中に教育がですね、絡まりながら町が発展してきてる状況が、この中からも読み取れるんじゃないかなと思います。今後の長洲町もこの実績を踏まえた上でどうするかというところを考えなければならないんですけども、やっぱり根底に人づくりを据えて欲しいなと思います。人づくりを根底に据えたまちづくりを是非あの今後も行っていきたいなと思います。そのためには、人、物、事が必要になってくるわけですね。長洲町だからこそこそ事業、長洲町だからこそ、大きなですね、あの大きな町はその余裕がたっぷりあるので色んなところでこう金かけてできる部分があるんだけど、この少ない予算の中でどうそこに重点的に効果的な事業が組めるかというのは、限られた予算からこそこそできる部分があるんじゃないかなと思うんです。その部分では大きな、一番この16年間の中で一番大きかったのは僕は中学校の統合だと思うんですよ。中学校の統合は、やっぱりこの今後の長洲町の発展、それから人づくりに繋がっていく10年後見た、20年後見た時にこの統合は大きな意味を持ってくるんじゃないかなと思います。今後もうこう、これは小学校にこう繋がってくるかっていうとまた検討が必要だと思うんですけども、是非この統合を生かしてほしいと、まちづくりに繋げてほしいという思いでいっぱいです。以上です。

【中逸町長】 ありがとうございます。岩切委員お願いいたします。

【岩切教育委員】 はい。こんにち。坂本先生の後を言うのはちょっと心苦しいですが、保護者の目線からというところでコメントをちょっとさせていただきます。ええと、最初にですね。先ほど少々前に話をさせていただいて、上の子が17歳で、ほぼその事業に関して関わってきた世代だと改めて実感してます。その中で、総務課の4番こちらパトロールさせて頂いたこともありまして、もちろん台数が2台しかないというところで貸し出しができない場合とか、あと時間帯とかいうこともあって保護者が仕事の終わった後とか部活動の後とか時間の縛りがあったりで、自家用車で回ったりしたこともありまして。もし今後ですね、あの可能であればその、500円保険代としてですね、あのパトカーを使用できない場合はそういうふうにあの自家用車で出された方にこれぐらい援助して頂けたらなああとちょっとと思っております。改めても子供たちから聞いている話とかなんですけれども、英語の授業に関してですね、むずかしい、中学校に上がってから難しくなった。とは聞きます。で、英語の先生とも少しお話をさせていただいたんですけども、小学校の時のリスニング。いろいろ聞いて英語に親しもうという楽しい感覚の英語から、突然中学校に上がってはい教科書見てください。はい、書いてください。文法はこうですっていう授業にいきなり変わると、ちょっと難しいっていう抵抗感っていうものが出てくるらしいんです。それは従来、今少しずつそれが今後ですね、今も幼児期から英語の授業されてるんで、後はそういう子たちが少なくなっていくかなとは思いますが、今現状はちょっとそういう壁があるというふうに、ま、英語の先生もおっしゃったし、ちょっと子供たち、うちの子どもはやっぱまだまだ英語苦手意識があるかなって感じました。あと、タブレットの使用に関してどの授業で使ってるのかが分からないというふうに聞いております。なので、あと、持ってきてないとか充電を忘れたとか。これからの整備環境ですね。タブレットを学校で完全に充電していただくとかですね、持ち帰りする時は徹底するとかですね、そのように、せっかくですね、予算使ってタブレットを支給していただいています。これから来年度7年からですか。また新しいタブレットになるということですので適正な、子供たちが本当に使って学べるようなやり方を使用して頂けたらなと思っています。以上になりますがたくさん言いたいんですけども、終わります。

【中逸町長】 それでは、次に福島さんお願いいたします。

【福島教育委員】 発言させていただきます。福島です。まだ教育委員になりたてということであるんですが、もしかしたら、関係のないことになってしまうかもしれないですけども、まずは、こういった役をもらったことによって、町全体ですね、たくさんの方をやっていただいていたっていうのがまず分かったなっていうところで、これもやってもらってた、これもやってもらってたっていうその、もうあくまでもこう町民としての意見なんですけれどもやっぱり女性であったり、こうやってもらうことに対してどうしてもきつと、本当保護者、いち保護者としてどこかで当たり前になってしまってる所があるんですね。やってもらって当たり前とか、これぐらい長洲町してくれると思ってた。え、まだここまでしかしてくれないのみたいな。やっぱり保護者の中で、もっとこうして欲しいとかっていう言葉があるんですけども、こういったものってこういう会議とかに出ないと分からなかったりするのでもっと全面的に長洲町がやってるんですよ。感謝してくださいじゃないんですけど

も、もっともっとうアピールをしていいのかなっていうところで思いました。やっぱり、自分たちのこう税金がきちんと使われてるっていう、この結果でかつ効果を生んでいるっていうのはもっともっと、知っていただいていいなと思いました。それこそ坂本委員がおっしゃっていたように人づくり、まちづくりは人づくり、人づくりは教育なんですけれども、やっぱり保護者とか、あの大人に対しても、町民に対しても教育って必要だなんていうのは、感謝する気持ちがやっぱり足りてなかったなっていうのをざっと見て思いました。あれもこれもなんですけれども、あの **B&G** とかですね、体育の授業が、**B&G** の方に、移っていただいたことも、やっぱりこの異常な暑さで、子供たちどうかなって心配なところもあったしですね。なのでこう先に先に動いていただいているんだなっていうのが分かって、今回ただただ町にさせていただいてることに感謝を申しあげます。以上です。

【中逸町長】 次に、塚本委員をお願いします。

【塚本教育委員】 この会議に初めて参加させていただきまして今の意見と同じようにこれだけのことが長洲の子供たちのためにですね、なされているっていうのを初めて知りました。1年前までは例えば **LED** ですね、すごく 町中が明るくなったとか、それからちょうど1年前までの中学校の統合に関しまして、あの私は清源寺に住んでるんですけど、あの宮崎川の横の通学路がすごく整備されて綺麗になって明るくなった。それから腹赤小学校の前の 道路が拡張されて、南側からの通学生が通りやすくなったとかですね、まあそういうのは目に見えてましたが、これに書いてあるのを見てですね、この 16 年間ですごいことをされてるんだなっていうのを実感しました。その中でもですね 8 ページの 10 番 11 番、小中学校の教室の空調化ですけど、小学校にも中学校にも冷房暖房が入ったっていうのは聞いて知ってましたけれど、特にその 11 番の地中熱システムの利用、これを同時に 導入された。電気代を安くするとかいう、そして地球環境に資するっていうのは聞いたことはありましたが、それをもうこの時期にですね、長洲町の小中学校に、取り入れられたというのは私は先見の明というか素晴らしいなあとと思い、もうしかし今 10 年近い期間が経ってますので、メンテナンスも大変なのかなというちょっと心配はしておりますけど、素晴らしい取り組みではなかったのかなあと考えております。もう 1 つ、中学校跡地活用についてですけど、長洲中学校ね、検討がなされてるみたいですね。町民全体もそうですけれども、特に地元の住民の方の気持ちを大切にいただければありがたいなというふうに思います。以上です。ありがとうございました。

【中逸町長】 じゃ最後に教育長をお願いします。

【松永教育長】 ちょっとあまり時間がありませんので、抽象的な話になるかもしれませんが、その中でですね、今日のテーマであります 16 年間の取り組みの総括ですけども、今日ずっと出てきましたように、本当にあのこれだけ多種多様なですね、事業をさせていただいているということに関してですね、我々現場でもですね、これまでもこう連携をしながらっていうことをやってきているんですけども、このあたりをしっかりと共有しながらですね、子供たちに返していく、教育環境を作っていきたいなと思ひますし、今後もこの総合教育会議も含めてですけども、結論から言うならばあの町長部局、教育委員会、しっかりとあの積極的な取り組みだったり、連携協力しながらですね、子供たちを中心に据えて進めていきたいなというふうに思っております。特に、あの子供真ん中とか、熊本県でもそうですけども、木村知事になりましてですね、これは長洲町でも以前からずっとやってきたことなんですけども、ただ振り返ってみるとですね、自分の反省ですけども、子供を真ん中にといいながらですね、子供たちの意見をどれだけ取り入れてきたか、対話しながらどれだけ子供たちの、どうしても大人の目線で決めてきている部分があるので、今後はですね、方向性としてはその文字通り子供たちの意見を、子供たちと対話しながらそこに、主体性のある子供たちを育てていきたいというふうに思っているところです。さっきから出てきますように、人づくりはまちづくり、教育が人なりとあります。その教育環境の中の人、今日校長先生方おいでですけども、本当に校長先生方中心に先生方が日々努力されております。この辺りをですね、先ほど、保護者の意見としてですね、これだけのことが分からずに今回、今日、感謝する気持ちでってありましたけども、色んなところでですね、それぞれのその多忙の中で、そういった気持ちの共有化がなかなかできてない。学校現場も、非常に多忙化で、余裕がなくなってきた。もうご存じの通り、子供たちにしては不登校とかいじめ、貧困、児童虐待、それから子供たちの社会での希薄化し、したがってその複雑化多様化の中でですね、非常にこう難しい時代になってます。更に現場に目を向けると先生たちの働き方改革と同時に人員不足。今年度は県下全部で 127 人の先生たちが足りないんです。椅子はあるけど人がいない。欠員が出て。そんな中でですね、色んなこと取り組んでいくんですけども非常に厳しい状況がある。ただしこれはもうすぐには改善しませんので、その中でもどう、町とタイアップして先ほど出てますように長洲町ならではでのより良い豊かな教育環境をどう作っていくかを知恵を絞っていきたい。今日、課長さん方おいでですけども、本当にあの共有しながらですね進めていきたいなと思ってるい

ろです。子育てはですね、本当にもう色々思いがあります。時間もあと1分なんですけども、ええと1つだけですね、子供たちの、命を守ると言う意味では、これ残念ながら平成20年度、ご存じのように5月17日に小学校の5年生の子供が命をなくしてます。これはもう飛び出しなんですけども、これだけの道路関係を作っていただいて、統合にもなってますね、私も本当に非常にびっくりしている、感謝する1人でもあります。そういった中でソフトハード面もそうですけども子供たちのその回避能力ですね、そこも学校現場では交通安全教育、安全教育の中の1つとしてですね、進めているところで、そのあたりをこうリンクさせながらハード、ソフトを有機的にリンクさせて今後を進めていきたい。何よりもこの命を大切にする部分をですね、更に強化していきたいなと思っております。それから包括連携協定の中でですね、先ほどありましたように、企業との連携、ふるさと学習であったり夢づくりトーク、いろんなものですね、学校だけでは成り成り立たない部分がありますので、いかにこの地域と学校が共同する活動。そしてそこに教育の効果を高めていく、そういった先ほどの課題をどう解決していくか。それが更に延長線上には教育地域の教育力を高めていく。町全体で教育を考えていく町になっていくんじゃないかなと思います。これまで色々町の方ですね、事業展開してきていただいておりますので、維持のともありますけども、更に結果を出していきたいな。英語活動もしっかりです。これは非常にですね、ありがたい中でこれを学校現場で、今まさにちょっと仕掛けてるところがありますので、効果が出るように更に進めていきたいなと思います。まとまりのない話になりましたけれども、どうぞあの我々教育委員会として事務局も含めてですね、頑張ってもらいたいと思います。校長先生方としっかり力を合わせてやっていきたいと思いますので、今後ともどうぞ、あの町長部局と一緒にですね、進めていきたいと思っておりますのでよろしくお願いいたします。以上でございます。

【中逸町長】 ありがとうございます。それでは、続きまして校長先生から補足やご意見何かございましたらご発言をお願いしたいと思います。何でも結構です。ございますでしょうか？ じゃ代表して佐村先生と松井先生にちょっとお願いしたいと思います。

【佐村腹赤小学校長】 はい、皆様こんにちは。私今年でもう60なのでですね、校長退職するんですけれども、あの今日ですね、先ほどからもたくさんの方から話が合っているとおり、この16年間様々な事業が行われてるんだなって本当に感謝の気持ちでいっぱいです。やっぱりこういうたくさんの方がですね、子供たちの成長に繋がってるんだなというふうにですね、ちょっと思ってる場所なんです。私が今1番ですね、学校教育でですね、一番危惧してる場所はやっぱり何かっていうとですね、やっぱ教育長から話が合ったんです。人が足りないんですよ。とにかく人が足りない。足りない上にいろんな諸問題がもう複雑化して対応しなくちゃいけない事例がですね、もう多岐にわたってるんですね。不登校の問題とかですね、児童虐待もありますけど、それから様々な保護者さんへの対応ですね。もうこういうので教員たちは疲弊をするんですよ。以前あった加配もなくなっています。前はですね、何とか少人数性とかTTとかですね、特別支援学級に対してもある程度人数が増えれば加配が来てたんです、これは。でも人が足りないからもう本当に困ってます。そこをどうしたらいいのかなというところですね。1つはなんか教育、業務支援員が県下でですね、来年度からそれぞれの学校に配置され、これ誰か見つけなくちゃいけないんですけどね。そういったことで、少しは教員の負担軽減にちょっと繋がるのかなというふうに思います。もう1つはですね、あの特別教育支援員の先生方、うち2名いらっしゃるんですけども、非常にあの頑張ってもらってます。ただですね、2名でも私は足りないというふうに実感してます。なぜかという通常学級でも一斉授業の中でなかなか、なかなかこうついていけない子が増えてます。それから特別支援学級に在籍する子どもも増えてます。そういった中でやはり補助する教員、あの補助する業務の方ですね。そういったことをもう少しやっぱり僕は増やしてもらいたいなっていう気持ちでいっぱいなんです。配置されるだけでもありがたいんですけども、更なる要望として私自身はそのところを常にあのちょっと気持ちの中、心の中にですね、是非お願いしたいという気持ちでいっぱいです。あの町のSSWの方の配置等はありません。これとても役立ってます。それから、はぐくみ館とかですね、ウィングのいろんな設置もあってですね。そういったことで学校と色々な連携しながら、関係機関と連携しながらできるような機関を作っていただいて感謝、本当にありがたいんですけども、でもやはり人が足りないというのがですね切実な願いであります。最後にそれだけはちょっと申し上げまして私の話を終わりたいと思います。

【松井長洲中学校長】 中学校からです。長洲町にですね私もう教育長と委員会、校長と12年間、長洲町にお世話になりましたが、今年で、いよいよ最後の年ということですね、最後の年に、統合に関わらせていただきまして、先ほどからありますようにやはり中学校をですね、核とした、やはり学校づくりをして行かなければならないなということで、強く感じているところです。4校の

すね小学校の特性をこう、いいところを生かしながらですね、やはり中学校が、1つの中学校になりましたので、中学校を核とした、やはり特色ある学校づくり、地域づくりをですね、これから行っていく必要があるなと思っております。中学校統合に向けて、その精神でですね、思っていることとしてはやっぱり誰もが通いたい。地域の方が通わせたい学校づくり。そして誰からも愛される学校づくりをですね、これが統合の基本になっています。そしてその根底にあるのが人づくり。教育の町、長洲というところですね、統合学校をスタートいたしまして、今1年目になりますが、まだあの何をこう核に持っていくのかですね、今こう策を、思考錯誤しながらやっている状況ですが、来年度は、先ほど、教育長からもありましたように、毎年1月17日が、長洲町交通安全の日になっています。それと長洲小学校防災拠点になっていますので、来年度からはですね、地域、学校それと行政をですね、巻き込んだあの防災教育、それと交通安全、それとSNS等のですね、命を大切にする教育を来年からですね中心に、これを核に据えてですね、中心に行ってきたいというふうに思っております。私も道半ばですけども、その中を引き継いでいただいてですね、やっていただければというふうに思っています。それともう1つ、今、長洲中学校昨年度からもやっておりましたが、やはり中学生をですね、地域の行事にどんどんと送り出そうということで、やはり地域から学校はですね色んなことをしていただきます。町長様はじめ、色んなですね、学校のほうに応援をしていただいたり、通学路とかいろんな補助とかたくさんやっぱりしていただいてこれは地域からしていただいている分、学校も地域に何らかの貢献をしていかなければならないっていうのは当たり前のことだと思いますので、地域の行事へのですね、参加をですねどんどんこう進めていこうということで、旧長洲中からの取り組みなんですけども、どんどんこう参加をですね、させて頂いてやはりあの、中学生が地域行事にもっとこう参加、参加することでですね、地域と、町と交わりながら、その中から町のリーダーがですね、育成されることを町としても期待しているところです。やはり地域に出て行ってそこから中学生リーダー更に1歩踏み込めばですね、長洲町を飛び出したところで、色んなところに体験や、本物にこう触れさせながら色んな、例えば災害があった地域とかですね、色んなところに中学生を派遣して、そしてそこから学んできた中学生がやはり中心となって、中学校を活性化して、核となるリーダーを中学生で育てていくことでそこからどんどんどんどん、こう中学校を活性化してですね、そして特色ある学校をですね、作り上げていくことが大事になってくるのではないかなというふうに思っております。それにはですね、様々なまだこう色んな財政的な支援等も多分いると思いますので、それにつきましては行政の方からの支援もお願いしたいところでございます。以上です。ありがとうございます。

【中逸町長】 皆様から様々なご意見をいただきありがとうございます。皆様がそれぞれの立場で知識、経験、知恵を振り絞って一生懸命に子供たちに繋がっていただいていることがよくお分かりになっていただけたかと思います。またこれからの長洲町を背負っていく子供たちの健全育成のため、更に連携を深めながら知識を共有していかなくちゃならないというところでございます。それでは全体協議その他として何かご意見等がございましたら教育委員会や、あるいは町の執行部の方々からも結構でございますので、何かありましたらお願いいたします。何でも結構です。

【岩切教育委員】 すいません。最後にちょっと。私、長洲中学校のPTA執行部させていただいてます。その時に、今ですね。話して大丈夫ですかね？広報誌、広報誌を作成させていただいてるんですね。自分で言って大丈夫？広報誌のことね。今年は3年生の卒業に向けて広報誌を作成させていただいてるんですが、その時に子供たちからメッセージをいただきました。この1年、更にそれまでの2年間どんなふうな思いで、あの過ごしてきたかということで、その中でですね統合について語ってる子供さんたちがいらっしやいまして、統合してよかったとか友達がたくさんできたとか、できないことができた。今までできなかったこと、あの、両中でできなかったことが一緒になることでできたとかそういうふうなことをたくさん書いてある子供さんもいらっしやいました。もちろん夢を書いている子供もいました。これも未来の教師の卵かなとも思っております。友達に対しての感謝の言葉。それがやっぱり一番大きかったんですけども、なんか統合のことを書かれてるとすごく私の中では、今まですごく皆さん町全体で頑張ってきたことが、子供たちにも少しでも伝わったのかなとちょっと嬉しく思いました。私長々、すいません。保護者からですね。そういうふうに思ってる子供たちがたくさんいますということで、ありがとうございます。

【中逸町長】 そのほか、委員の皆さんなんでも結構ですから。せっかくの機会ですから。これからじゃあどういふ教育を長洲町は行っていかなくちゃいけないとかそういうの何か、ご意見等ありましたらいいですか？じゃあ、私の方から最後に16年間を振り返りまして、やはり一番やらなくちゃならないのは坂本委員が言われた教育こそまちづくりの原点なんです。そして人づくりこそまちづくりの原点なんです。これは基本に僕は目指してやってきたつもりなんですけど、今後新しい町長

や新しい課長さん方ぜひですね、教育こそまちづくりの原点ということを坂本委員が言われたように、この中にしっかり入れて、今後教育の町長洲を作り上げていって貰いたいと思いますのでぜひここはお願いしたいなと思います。そして今日は要望をあんまり言いたくなかったんですけど、英語教育をなぜ始めたかということがあります。英語教育は今あらゆる分野でビジネスから学校まで世界の共通語である英語を話し聞かないと通用いたしません。今後日本の子供たちが世界に飛び立っていく、またビジネス等で世界に飛び立つには英語が必要であります。しかし先ほど言われたように、文法とかそういうのがあったらちょっとくじけちゃうと。そういう意味で、島川選手と以前お話をしたことがあります。島川選手はアメリカに単独で留学に行かれました。その時何よりも英語力がなかったということが、一番自分が気づかされたと言われます。そういう意味で町長はぜひ英語教育を子供たちの時からやらせてくれと言うことを言われて、そういう意味で非常に長洲の子供たち英語力がついたとはいえども、**3級が中学校3年生で3級程度がまだ51%しかありません。さいたま市は81%あります。どういうことをやると81%になるか。英語だけが勉強じゃありません。色んな他の教科もやってます。しかし今後国際人になる以上は、英語を身に付けて頑張っていかなきゃなりません。どうかあの学校の先生と一緒にそういうさいたま市をぜひ来年度予算つけますので、行っていただきたいなと思います。そして英語力伸ばすこと、また国語も算数も全て伸ばしていく。これが長洲町の将来の姿であります。町長部局としては、せっかくタブレットを配ってあるからソフト事業を、上からのエブリバディじゃないですけど。朝8時から30分間英語教育を流そうということもまちづくり課で検討しております。これは町長部局でやります。教育委員会には任せません。これは行政と教育委員会の違いがあります。文科省にあまり縛られてないのが1つの我々の意気込みでもあります。そういう意味で町長部局でこういう英会話、簡単な英会話。これを町民を巻き込んで全ての長洲町民がそういう朝8時からインターネットをつければあるいは子供たちにタブレットをつければ英語教育が流れるような、こういうのをやる。そして英語だけでなく色んなのを次々からタブレットを通して夏休み春休みやっていけばいいのか。この予算を新しい町長に組んでもらおうと思っております。そういう意味で今後やはりいろんなこういった教育力を上げることこそ、僕は1番のまちづくりだと思っておりますので、本当に今日は坂本委員感謝申し上げます。ありがとうございます。他にないようでしたらこの辺で閉めたいと思います。事務局にお返しします。ありがとうございました。**

【司会（金森総務課長補佐）】それでは、次回の総合教育会議についてでございますが、今回は、令和7年度、来年度となります。日程や協議調整事項につきましては、教育委員会とまた随時調整をしながら進めてまいりたいと考えておりますので、皆様また来年度もご協力をお願いいたします。そのほか何かございますでしょうか？ はい。それじゃちょっと1点私の方からご紹介の方させてください。今週土曜日、3月1日土曜日、午後2時からですね、ながす未来館、文化ホールにおきまして、おでかけ知事室、ともに未来を語る会 in 長洲町が開催されます。これは、県知事が、本町の方にお越しいただきまして、町民19名、事前に申し込みを頂いた19名の町民の皆様から、知事との対話の中ですね、新たな県の政策を模索していくというところでございます。教育関連の質問の方も出されているということでお聞きをしておりますので、お時間がありましたら、お越しいただきますようお願い申し上げます。それでは、これで本日の総合教育会議を終わらせていただきます。これにて令和6年度第1回長洲町総合委員会を閉会いたします。皆様どうもありがとうございました。